

剣山 A班 記録 太田

10月24日(土) 天候：曇り/小雨、気温5度から10度くらい

渡邊CL、藤木晴L、長沼SL、

酒井シェフ、水江体操L、新入会員栗山・太田
登り：3時間15分（昼食・休憩含）、
下り：2時間07分（休憩含む）

5時幌別駅集合、芯から冷えるほどの寒さ。
ミーティングも早々に、西へ向けて出発。行く手の空が朝焼けに染まる。

相馬、宇田、永宮氏と合流しひたすら東進する。

9時半過ぎ登山口着、ブロック造りの剣山登山口小屋に荷物を下し、出発装備を整えるころには小雨がぽつぽつ。

神社拝殿の軒先を借りて準備体操。剣山神社の神様に水江氏の腰回しを奉納する。



10:07 藤木晴Lを先頭に、栗山、太田、酒井、長沼、水江と続き出発する。

ゆるゆると、穏やかな表情の観音様を数え拌みつつ進む。

木々は冬枯れ、足元には青々とした笹。道は整備されていて歩きやすい。

程なく 10:24、534mピークに到着。

その先急登だが道は乾いていて悪くない。会話が弾む。

味噌論争では白派酒井氏と赤派長沼氏が譲らず、藤木Lの一言で水入りとなる。

11:43、906mピーク着。大岩の下を通る。

この先トラバース・登り・下りを繰り返しながら、蛙岩、不動岩、母の胎内と見どころが続く。

途中昼食タイム。



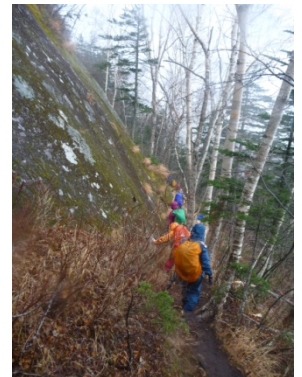
蛙岩

道の真ん中で昼食

12:49 頂上目指して出発。食後の重い身体に厳しい急登がこたえた。



不動岩



一枚岩



母の胎内



水が凍って

足元の悪いロープ場やら、岩場にかかるはしご、栗山・太田を絶妙にサポートする男性陣がナイトに見えた。

3つ目のはしごを登り最上段に身を乗り上げた瞬間、足下から吹き上げる強風がお出迎え。



13 : 20 頂上着。

大岩が重なり、座る場所などない、斜めに岩にもたれかかるのがようやくだ。

一気に体温が下がる。強風で飛ばされそうだ。

下界はガスで何も見えない。冷たい風が容赦なく吹きつける中、記念撮影。

岩に突き刺さった剣が印象的だった。



頂上、晴れると十勝平野が一望できる

13 : 25 下山開始、はしごは下りのほうが怖い。

ロープも足元が滑ってずるずる、不安定。



大岩辺りまで下がるとびたっと風がやんだ。

そのあとは滑ったり転んだりしながらも楽しく下山、**13 : 32**、剣山神社の神様に皆の無事下山を報告した。

水江氏の腰回しを神様は気に入ってくれたようだ。

ずいぶん体が冷えた。皆が下山後の後始末をする中、長沼氏がまきストーブをたきつけてくれた。ありがたい。

威勢よく燃えるまきストーブで暖を取り、夕食準備やら帰宅準備に取り掛かった。

夕食は酒井シェフのこだわり八宝菜。山小屋の

夜は賑やかに更けていったが夜半過ぎから暴風となった。(らしい)

頂上から十勝平野、日高山脈を望むことはできなかったけれど、日高の山の深さと冬の訪れを感じる山旅であった。

文責 太田